

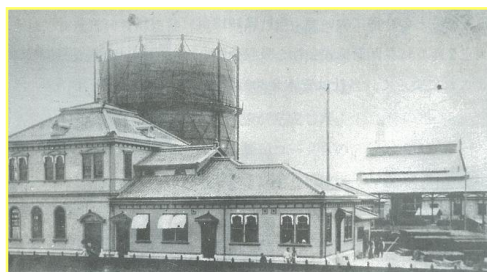
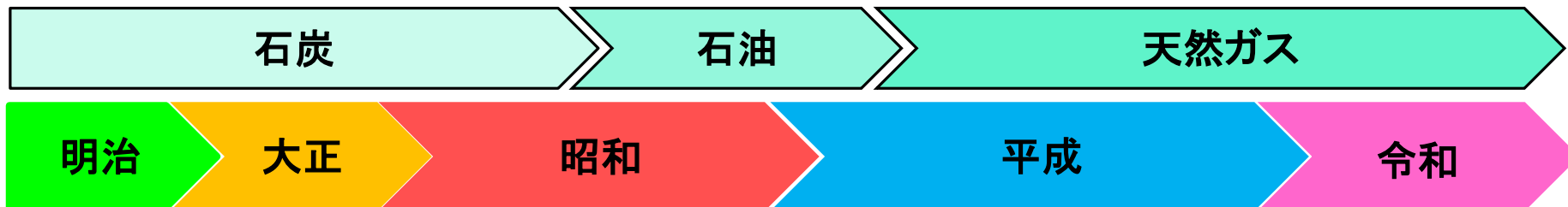


このまち思いエネルギー。
広島ガス

1. 広島ガスの会社概要
2. 経営計画
3. トピックス
4. 2022年度業績見込み

1. 広島ガスの会社概要

1-1. 広島ガスの歴史



1909(明治42)年10月
広島瓦斯株式会社設立



1945(昭和20)年8月
原爆による被災



1995(平成7)年6月
廿日市工場製造開始

2022(令和4)年
東証プライム市場
へ移行



1910年
(明治43年)
1,244件

1974年
(昭和49年)
20万件

1985年
(昭和60年)
30万件

1997年
(平成9年)
40万件

1949(昭和24)年
広島証券
取引所上場

2000(平成12)年
東証二部
上場



2015(平成27)年
東証一部
銘柄指定

1-2. 会社概要



- お客さま件数 41万6千件（2022年3月31日現在）
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

- 東京証券取引所プライム市場に上場（2022年4月4日）
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 68,373,036株（2022年12月31日現在）



供給区域（広島県内7市4町）

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数
416千戸



卸供給
(広島ガス)
連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用した卸供給



1-3. 広島ガスグループの概要



広島ガスグループ 39社：当社、子会社/関連会社38社

ガス事業

- ・都市ガスの製造・供給
および販売
- ・保安点検業務
- ・検針業務 他

LPガス事業

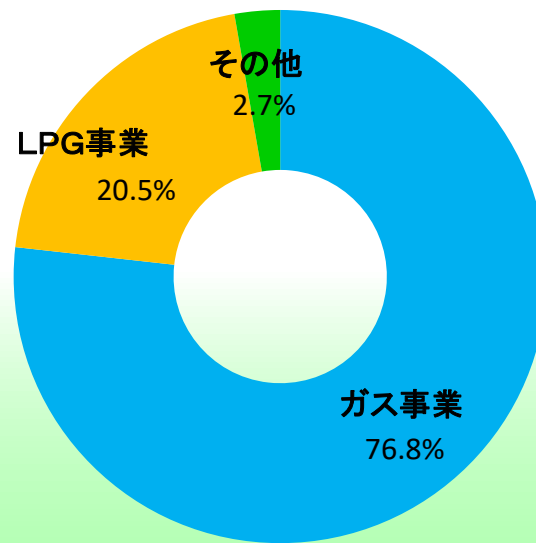
- ・LPガスの販売
- ・LPガス充填業務
- ・当社エリア外でのLP
ガスを原料としたガス
小売り事業 他

その他

- ・建設工事
- ・高齢者サービス事業 他



事業別 売上高構成比※(2021年度)



※外部顧客に対する売上割合

1-4. ガス販売量の推移



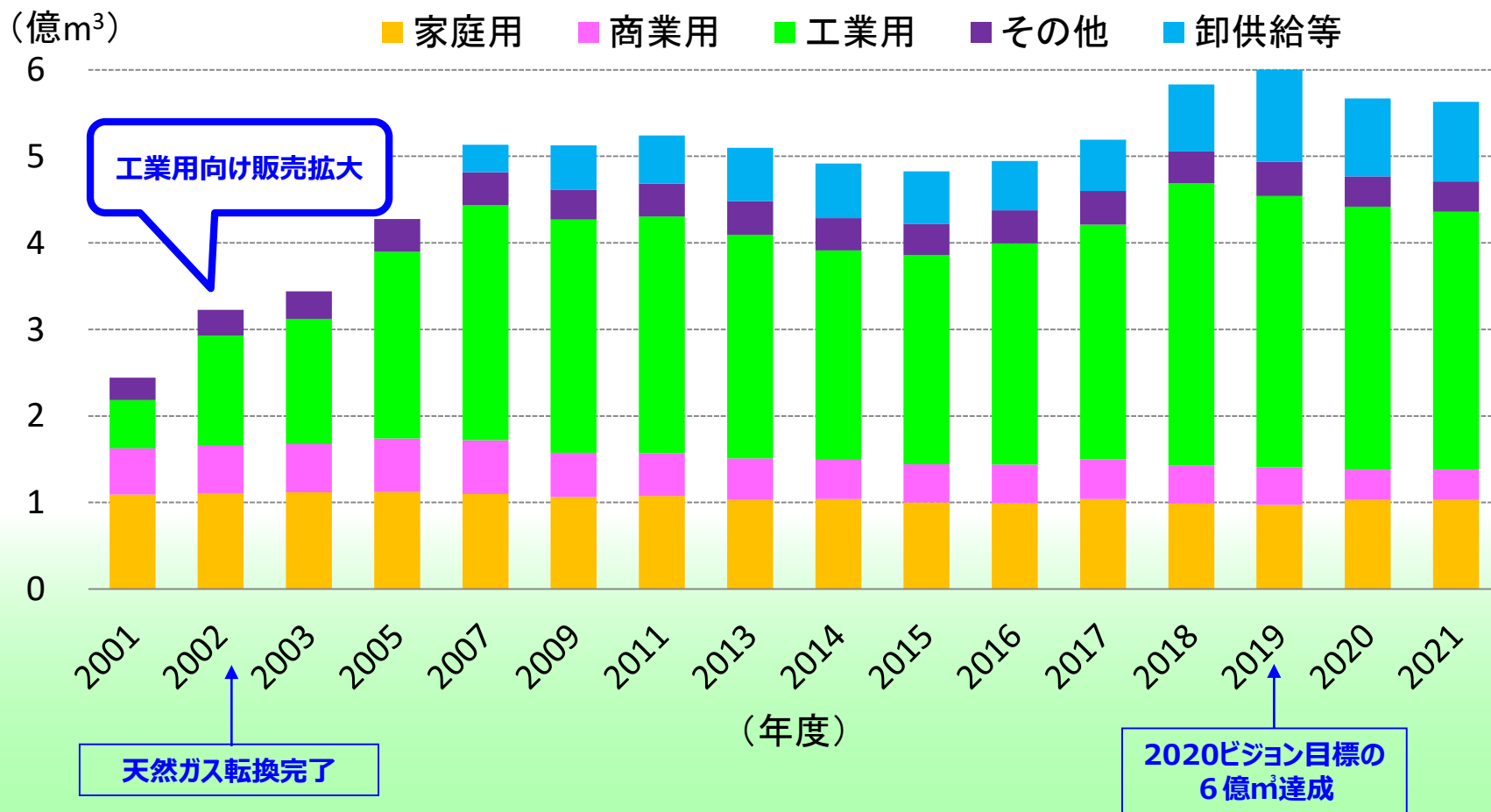
工業用  を中心とした需要の増加

総販売量

工業用販売量

2021/2001 : 2.3倍

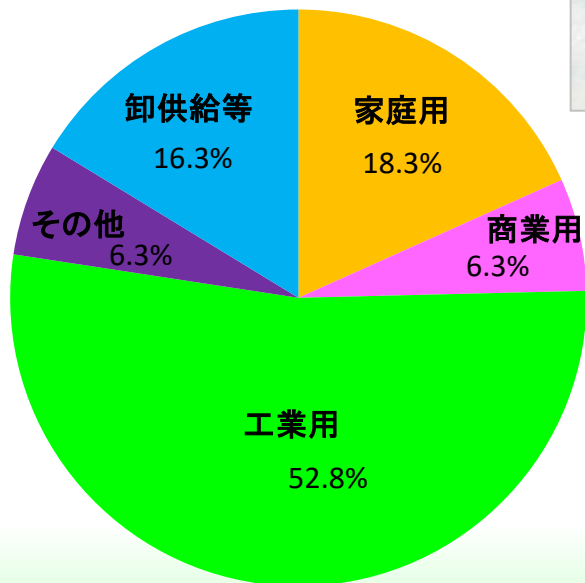
2021/2001 : 5.3倍



1-5. 都市ガスの用途



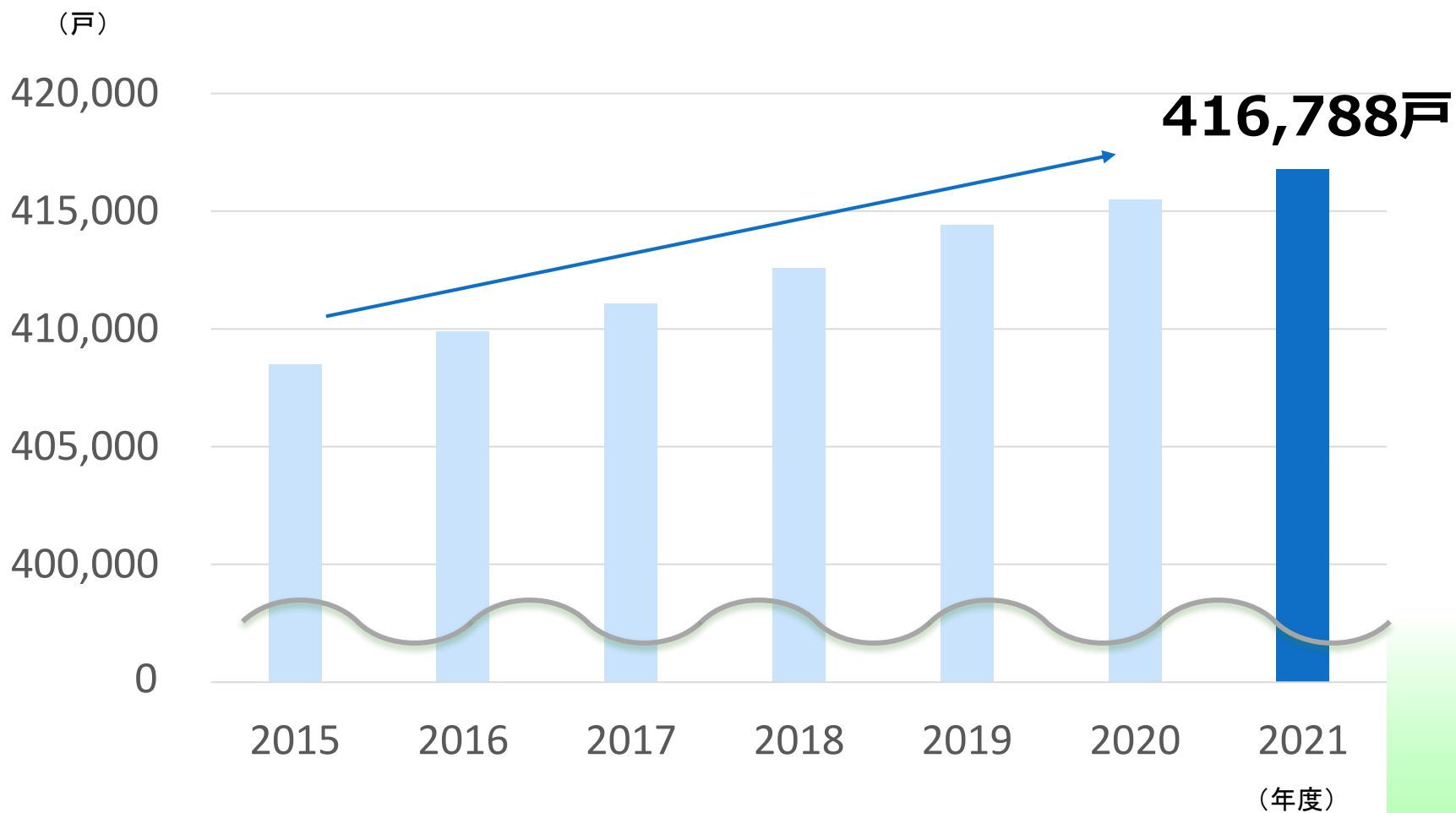
ガス販売量構成比(2021年度)



1-6. お客様件数の増加



6年連続で増加

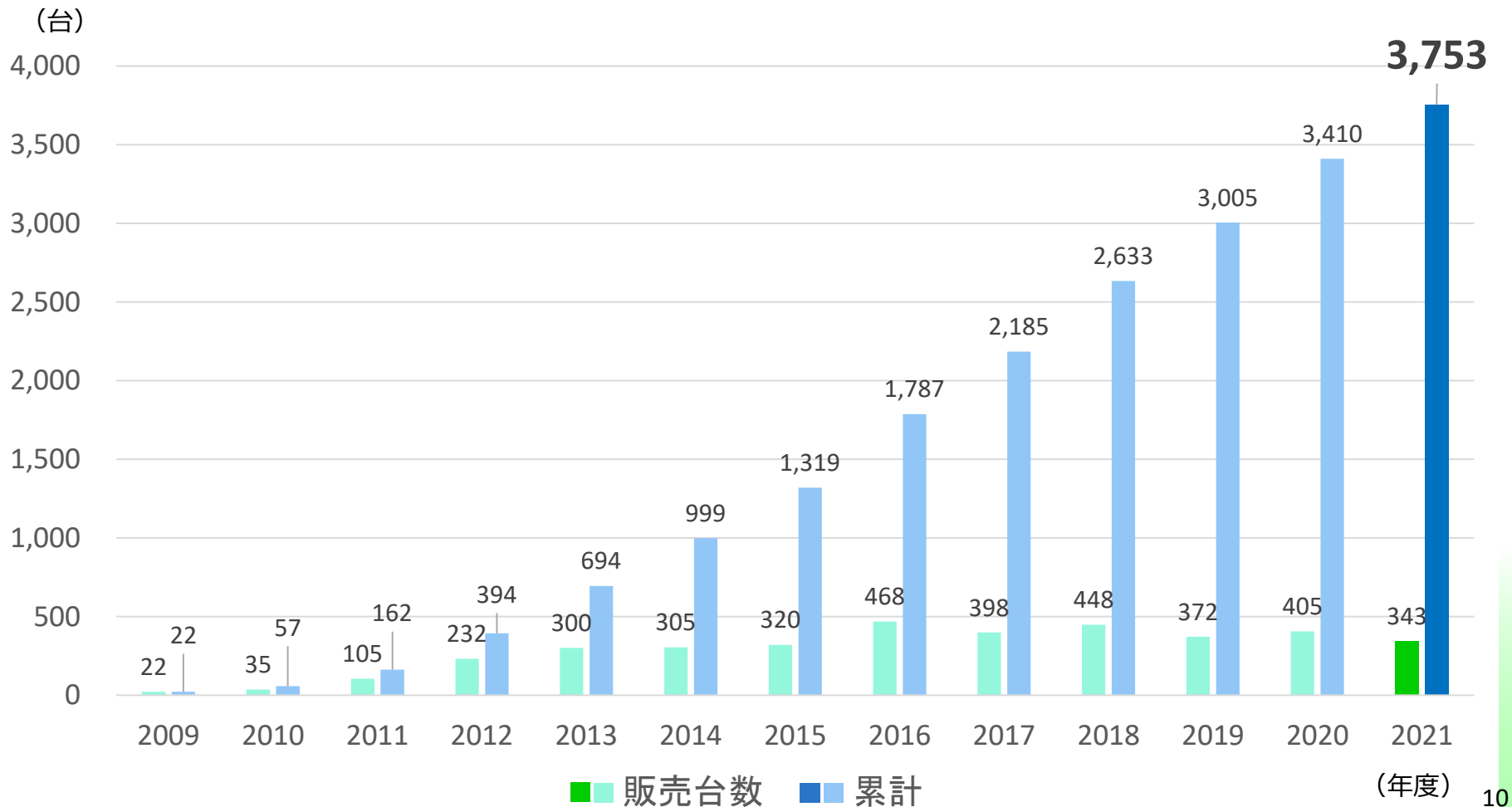


1-7. エネファーム販売数の増加



2022年11月末時点の成約件数は255台で、
エネファーム累計販売台数4,000台※を達成

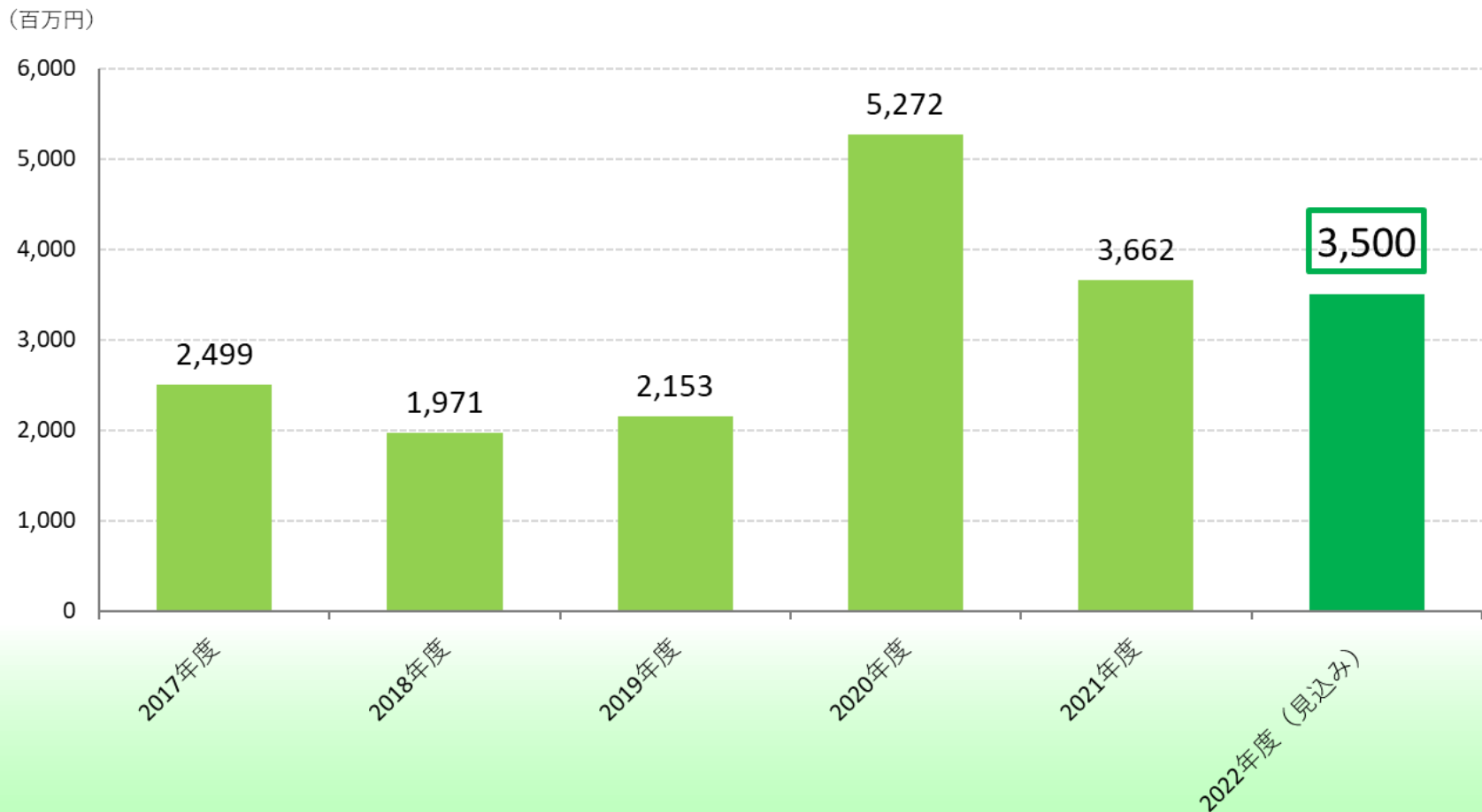
※成約ベース



1-8. 当期純利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益



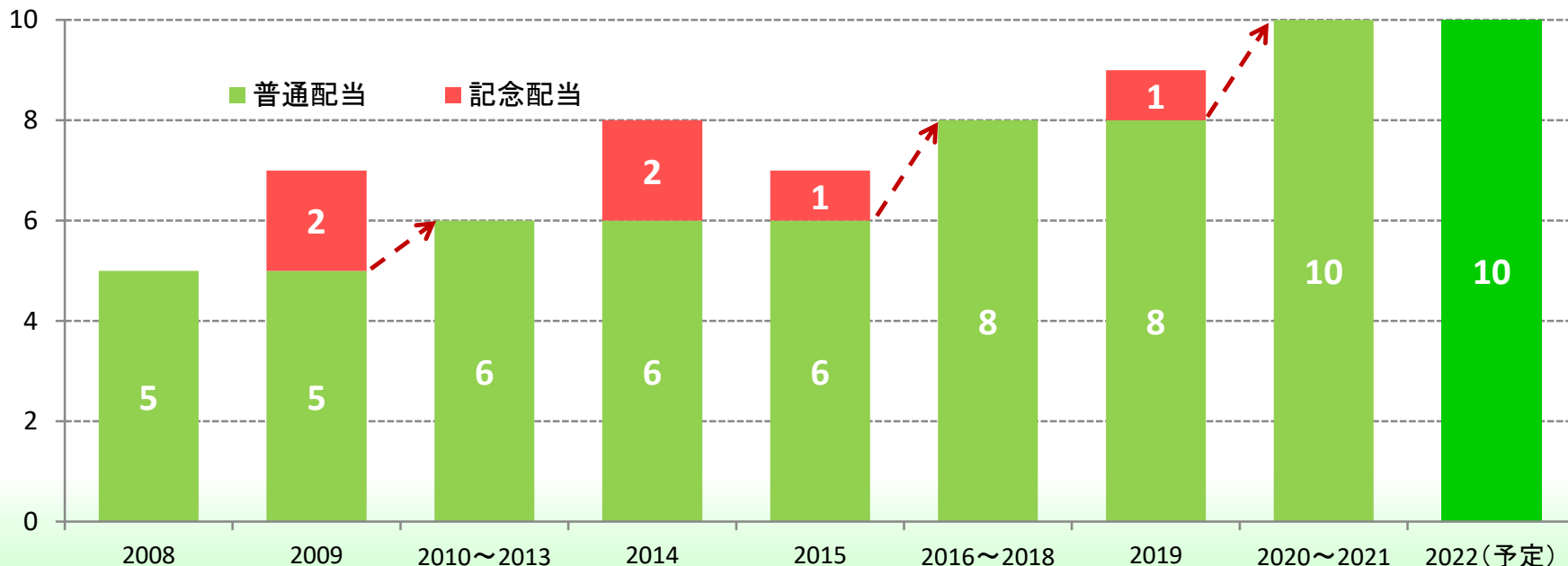
※2022年度 (見込み) 数値は2023年2月10日のプレスリリース「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づく

1-9. 株主還元方針



- ① 徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、**安定配当を継続することを基本方針としつつ**、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、**成長に合わせた配当を実施**
- ② 短期的な利益変動要因を除き、**連結配当性向30%以上**を目指す

1株あたり年間配当額



※ 2009年度は「創立100周年」、2014年度は「東証一部指定」、2015年度は「天然ガス供給開始20周年」、2019年度は「創立110周年」に対して、記念配当を実施。

1-10. 株主優待制度



株主優待制度

【目的】株主さまからのご支援に感謝するとともに、より多くの株主さまに**当社株式を長期に保有**していただける魅力あるものとする

【優待内容】

- 保有株式数と保有期間に応じて、「**株主優待ポイント**」を進呈
- 株主優待ポイントは、**広島県特産品の食品・雑貨など(40品程度)**から好きな商品と交換が可能

長期保有で
進呈ポイント増加！

(株主優待ポイント表)

保有株式数	保有期間	
	3年未満保有	3年以上保有
500株以上1,000株未満	1,000ポイント(1,000円相当)	2,000ポイント(2,000円相当)
1,000株以上2,000株未満	3,000ポイント(3,000円相当)	4,000ポイント(4,000円相当)
2,000株以上5,000株未満	5,000ポイント(5,000円相当)	6,000ポイント(6,000円相当)
5,000株以上	8,000ポイント(8,000円相当)	10,000ポイント(10,000円相当)

2. 経営計画

2-1. 2030ビジョン ~第2フェーズ重点施策~



2030年ビジョン
第4フェーズ
(2028年度~2030年度)

2030年ビジョン
第3フェーズ
(2025年度~2027年度)

2030年ビジョン
第2フェーズ
(2022年度~2024年度)

2030年ビジョン
第1フェーズ
(2019年度~2021年度)

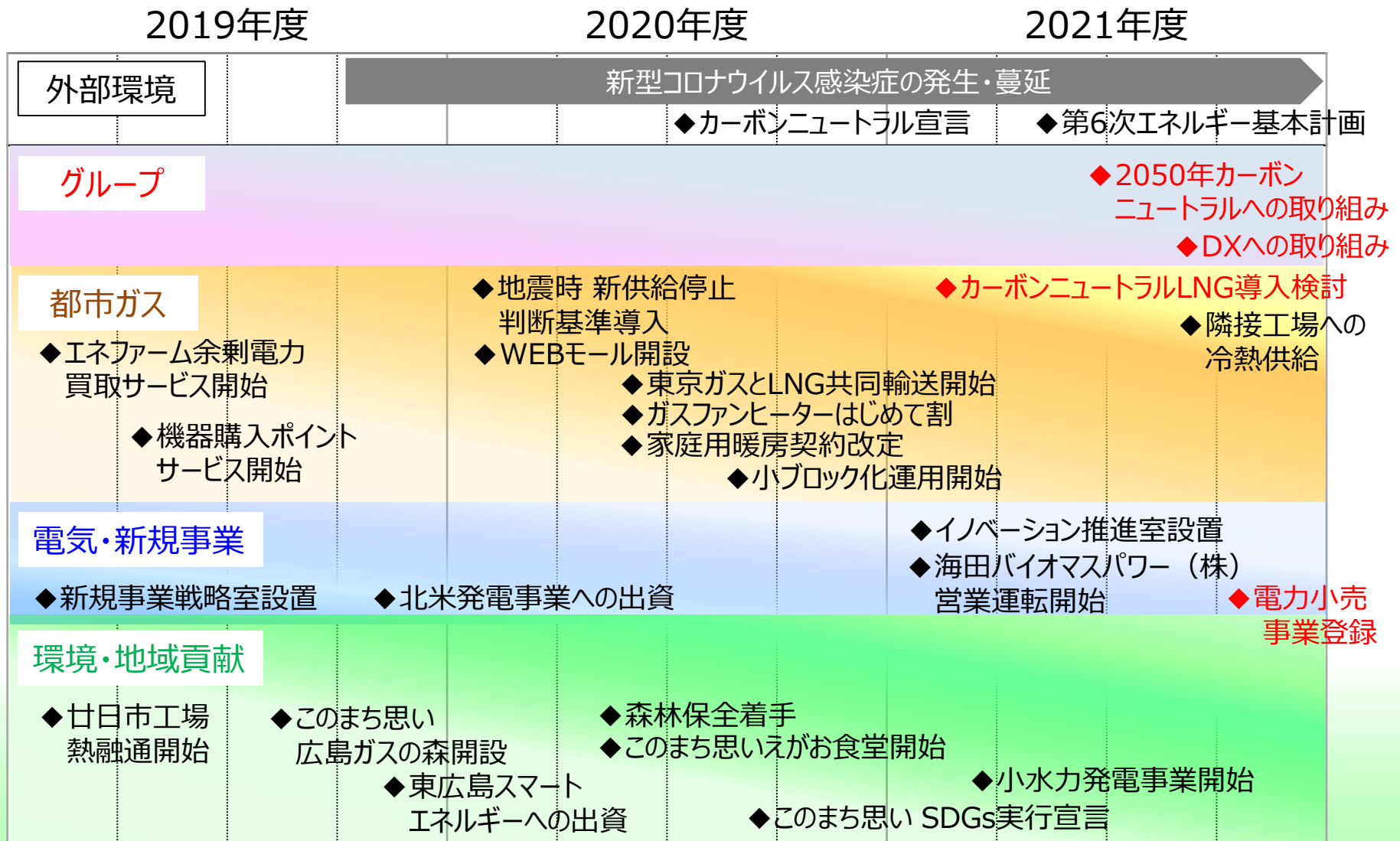
		2030年	2050年	カーボンニュートラル
ガス	お客さま先の低・脱炭素化	天然ガス・LPガスシフト (石油・石炭からの燃料転換)	CGS・燃料電池等の普及拡大による天然ガス・LPガスの効率的利用	
	ガス自体の脱炭素化	次世代エネルギーの可能性調査 (メタネーション・水素) (CO ₂ クレジットの活用)	カーボンニュートラルメタンの導入・拡大	
電気	お客さま先の低・脱炭素化	電力市場からの電力調達・供給	グリーン電力の供給	
	電源の脱炭素化	再生可能エネルギー電源、卒FIT電力の確保(仮想発電所の構築) 火力電源(電力市場)	電力市場における再生可能エネルギー電源の主力電源化	
環境	森林保全	里山再生・CO ₂ クレジットの創出		



<2030ビジョン第2フェーズ重点施策>

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、事業基盤を改革・強化する
- (1) ガス「天然ガス・LPガス」の積極的・効率的利用により、「累積CO₂の低減」に邁進する。
 - (2) ESG経営・SDGsを意識した取り組みの推進と、「イノベーション」を通じ、脱炭素社会の実現および「このまち思い」な「まちづくり」に貢献する。
 - (3) DXの活用により、新たな価値創造と業務改革を図り、イノベーションを推進する。

2-1. 2030ビジョン ~第1フェーズの活動振り返り~

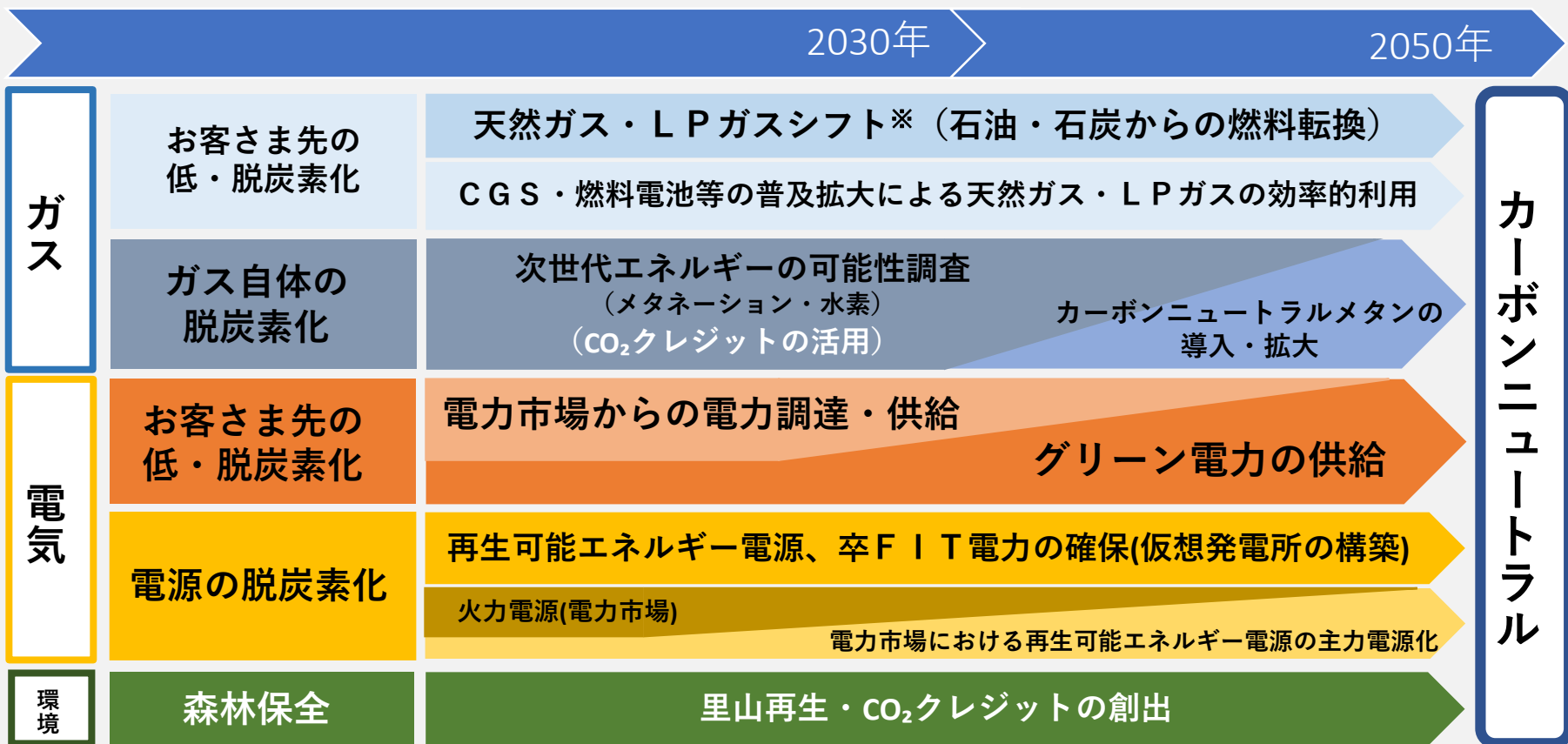


2-2. 2050年カーボンニュートラルに向けて①



- 2021年11月、「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を公表
- 「ガス」「電気」「環境」の3つの取り組みを柱として推進

広島ガスグループのカーボンニュートラルに向けたロードマップ



カーボンニュートラル

2-2. 2050年カーボンニュートラルに向けて②



- 「ガス」「電気」「環境」の3つを柱とした取り組みにより、CO₂排出量の低減と吸収の取り組みを推進

ガス

- 徹底した天然ガスシフト・LPガスシフトおよび効率的利用により、CO₂削減を実現
- 将来的には、カーボンニュートラルメタンの導入・拡大によるガス自体の脱炭素化に挑戦

具体的な取り組み

- 石炭・石油利用大口需要家に向けて、都市ガス・LPガス転換の更なる積極的提案
- 2022年1月 カーボンニュートラルLNGを導入
- 2022年9月 広島大学とカーボンニュートラル実現に資する共同研究を開始

電気

- 小水力、太陽光、CO₂の少ないコジェネ電源を軸とした電力の供給
- 将来的には再生可能エネルギー電源による電源の脱炭素化、グリーン電力の供給

具体的な取り組み

- 2022年1月 小売電気事業者登録を完了
- 2022年4月 グループ関連施設へのグリーン電力の供給から事業開始
- 2022年8月 広島県廿日市市と「特定送配電事業に関する基本協定書」を締結

環境

- 林野庁や地域の森林組合などと連携して、森林保全とCO₂の吸収・貯蔵に貢献

具体的な取り組み

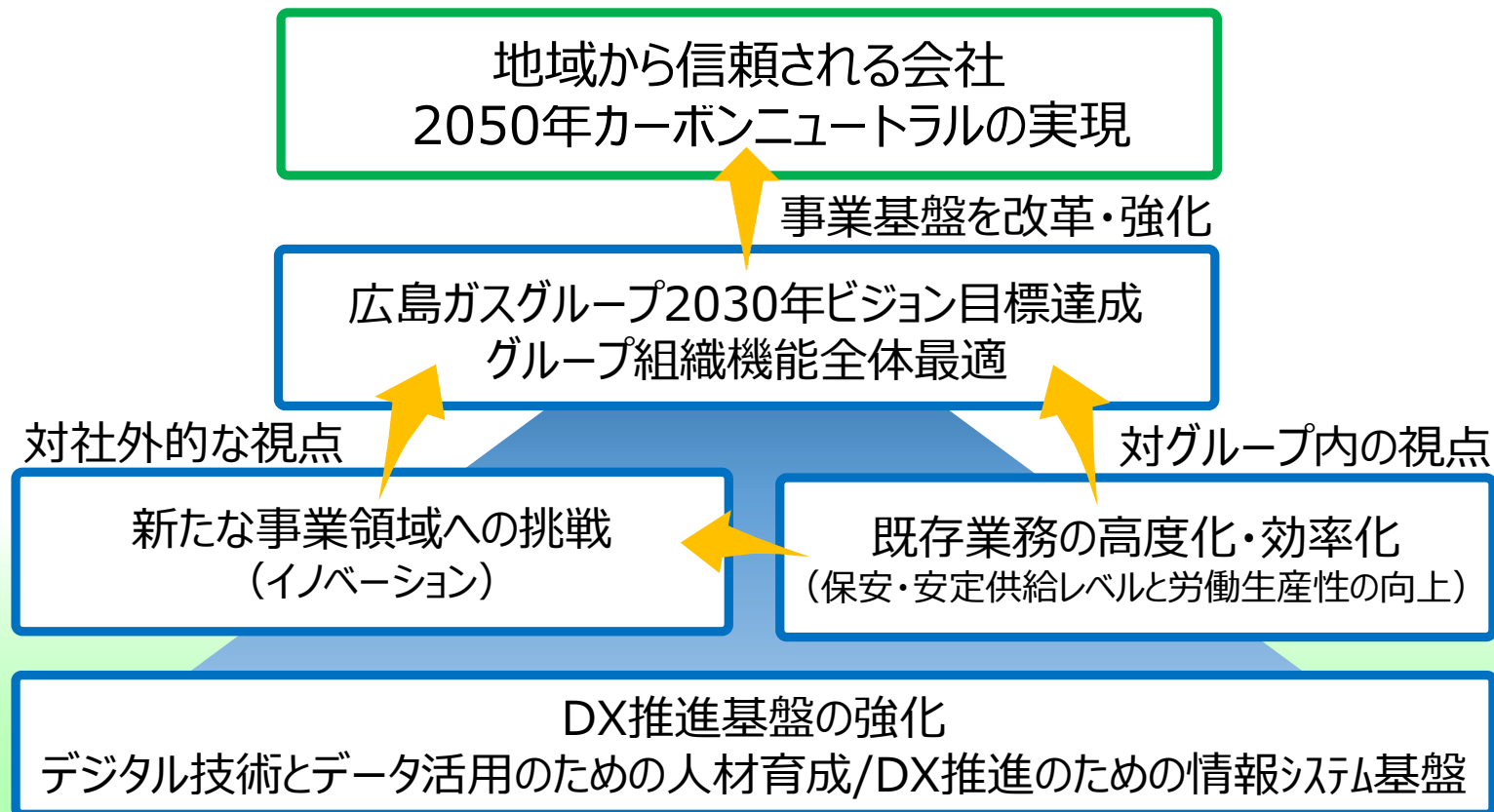
- 2019年 「このまち思い 広島ガスの森」開設、2020年 林野庁分収造林に参画
- 2021年4月 県内産木質燃料を海田バイオマスパワー(株)で利用開始
- 2022年4月 当社取得の県内森林地より海田バイオマスパワー(株)に木質燃料を供給開始

2-3. 広島ガスグループのDX基本戦略



<考え方>

- 2022年7月に整備したDX推進体制を中心とし「既存業務の高度化・効率化」と「新たな事業領域への挑戦」を目指し取組を進めるが、まず足元では**既存業務の高度化・効率化を確実に進める**。これにより事業環境変化に対応しつつ広島ガスグループが成長・変革していくために必要な原資(ヒト・資金)を確保していく。



2-4. ガス需給計画・設備投資計画



需給計画		2021年度 (実績)	2022年度 (計画)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	2025年度 (参考)
都市ガス [百万m ³]	家庭用/ 業務工業用	473	430	415	407	412
	卸供給等	92	71	76	74	54
LPG [千t]		83	86	89	93	96

設備投資計画	2021年度 (実績)	2022年度 (計画)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	3年間合計 (2022~2024 年度)
広島ガスグループ 設備投資合計額 (内、CN投資)	85億円	121億円 (34億円)	70億円 (3億円)	70億円 (20億円)	262億円 (57億円)

※CN投資:再生可能エネルギーの導入拡大や低炭素化などに貢献する投資

※CN投資の内、2022年度には事業用地取得21億円を含みます

※その他の設備:ガス事業に利用する設備以外の設備

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります

3. トピックス



1. カーボンニュートラルな都市ガスの供給拡大
2. グリーン電力の供給開始
3. 廿日市市との「特定送配電事業に関する基本協定書」締結
4. カーボンニュートラルの実現に資する共同研究の開始
5. 住友重機械工業株式会社とLAES商用実証の共同実施
6. 家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO₂削減事業の開始
7. SDGs達成への貢献

3-1. カーボンニュートラルな都市ガスの供給拡大



2022年1月の当社初となるカーボンニュートラルLNG導入以降、
順調にカーボンニュートラルな都市ガスの供給を拡大

2022年1月	カーボンニュートラルLNGを積載したLNG船が廿日市工場に初めて入港
2022年4月	THE OUTLETS HIROSHIMA 当社初となるカーボンニュートラルな都市ガスの供給を開始
2022年9月	三菱重工コンプレッサ株式会社 産業用として当社初となるカーボンニュートラルな都市ガス供給の開始を公表
2022年10月	ゆめマート西条 東広島市内で初となるカーボンニュートラルな都市ガスの供給を開始
2023年1月	ひろぎんホールディングス本社ビル カーボンニュートラルな都市ガスの供給を開始



カーボンニュートラルLNGを積載したLNG船

3-2. グリーン電力の供給開始

当社グループの再エネ電源に由来したグリーン電力の供給を開始

- 2022年1月 小売電気事業の登録完了
- 2022年4月 グループ施設へグリーン電力供給を開始

再エネ電源



バイオマス発電



太陽光発電



小水力発電

グリーン電力



環境価値
(CO2排出削減、
省エネルギーなど)

電力

供給先



広島ガスグループ施設
(ガストピア他)

3-3. 廿日市市との「特定送配電事業に関する基本協定書」締結



地方自治体の脱炭素化と災害時のエネルギーセキュリティ向上に貢献

- 当社廿日市工場で発電した電気を廿日市市の公共施設に供給する協定を締結
- 2023年12月からの供給開始を予定

広島ガス廿日市工場

- 設備の有効利用

<電源設備※1>

CGS 5.5MW×2台(既設)
CGS 1MW×2台(新設)



廿日市市公共施設

- エネルギーセキュリティ向上 (BCP電源確保)
- 省CO2

特定送配電事業 ※2

電気供給
埋設自営線

廿日市市役所

BCP

廿日市市浄化センター

BCP

事業イメージ

※1 ガスコージェネレーションシステム (CGS) により発電した電気の一部を、特定送配電事業に利用

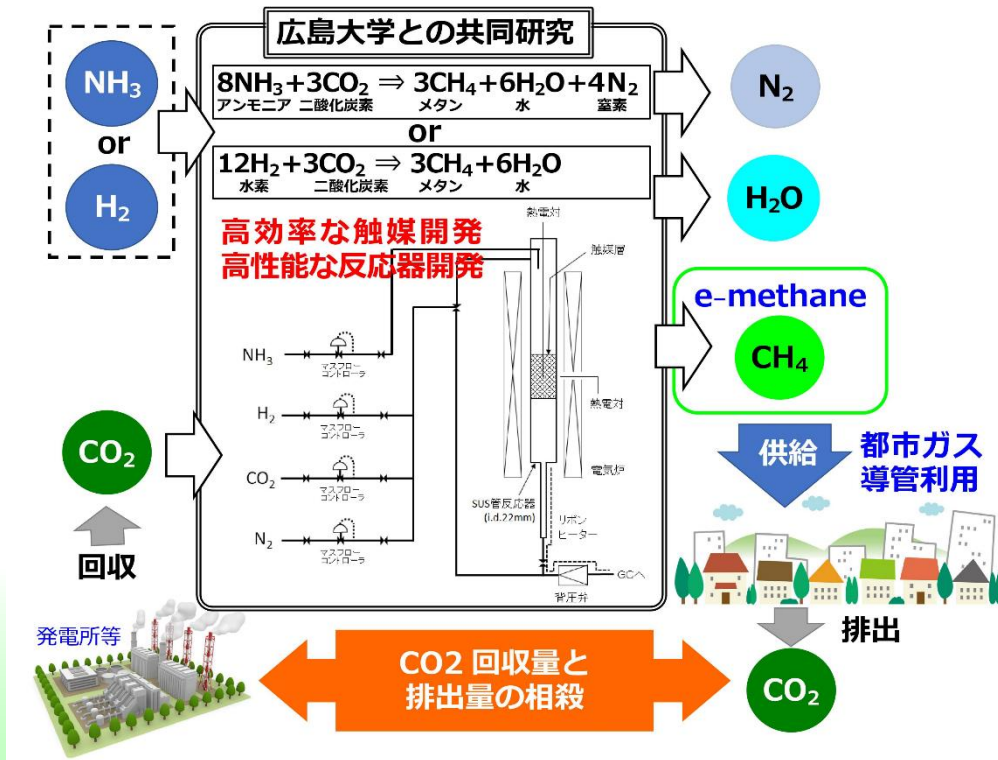
※2 送電設備・配電設備を維持・運用し、特定の供給地点まで電気を送り届ける事業

3-4. カーボンニュートラルの実現に資する共同研究の開始



広島大学とメタネーション*に関する共同研究を開始

- 国立大学法人広島大学と共同研究契約を締結
- 地元大学と地元企業の産学連携で地域の脱炭素化の可能性を追求



共同研究の概要

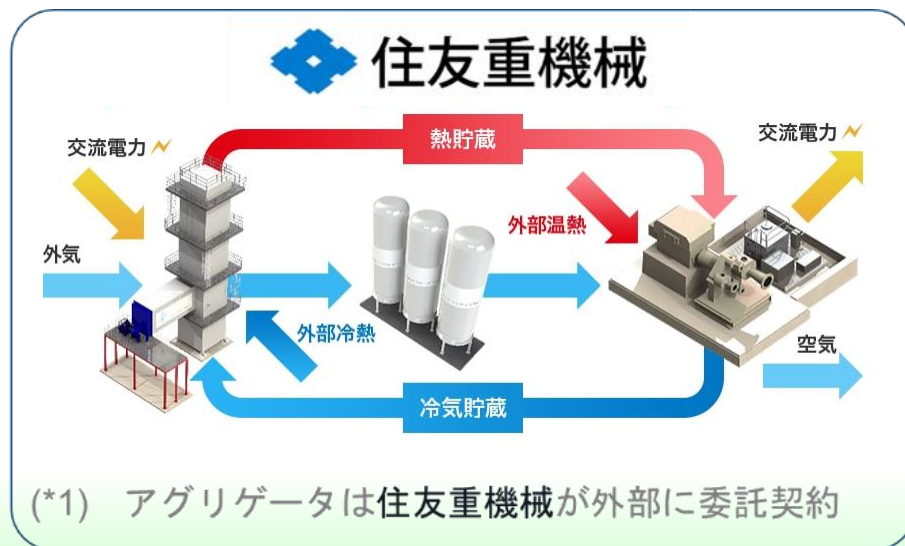


※ 水素(H₂)またはアンモニア(NH₃)と二酸化炭素(CO₂)を使って、メタン(CH₄)を合成する技術。この技術で製造されたメタンを都市ガス原料として利用した場合、CO₂の排出量は実質ゼロとなる。基本的技術は確立されており、今後、実用化に向けた技術開発が必要とされている。

LAES商用実証の共同実施に関する業務提携契約を締結

取り組みの目的

- 蓄電ビジネスの実証、ノウハウ取得
- LNG冷熱の有効活用による環境負荷低減
- LAES知見の集積の寄与による脱炭素社会実現への貢献



このまち思いエネルギー。
広島ガス
パートナー
(LNG冷温熱相互供給)

LNG冷熱
利用



LAES商用実証の概要

※LAES (Liquid Air Energy Storage)

液体空気の形で電力エネルギーを貯蔵し、必要な時に取り出す技術。

太陽光や風力等の再生可能エネルギーの余剰電力を活用して充電し、電力需要の高いタイミングに放電をすることで、脱炭素および電力需給の安定化に寄与。

3-6. 家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO2削減事業*の開始



エネファーム(EF)の「優れた環境性の訴求」と「お客さまサービスの拡充」

本事業の目的

- 環境性に優れたEFをご使用のお客さまへの新たなサービス
- 環境価値の見える化による環境意識の醸成、EFの拡販
- J-クレジットの創出および活用に関わるノウハウの蓄積



環境性に優れたエネファームをご使用いただくことにより、CO2の排出量を削減されたお客さまへのサービスとして、その地域環境への貢献をご実感いただくために、エネファームにより削減されたCO2(環境価値)を当社がお客さまから譲り受け、J-クレジットに換価し、その対価として毎年「広ガスポイント」1,000ポイントを付与いたします。

※本事業は、国が運営する「J-クレジット制度」のプロジェクトとして登録されています。

※対象は2021年4月以降に新たに設置したアイシン製EFなど、諸条件があります。詳細は当社リリースをご参照ください。

3-7. SDGs達成への貢献①

2020年10月「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」策定

広島ガスグループ

このまち思い SDGs実行宣言 ~笑顔あふれる未来へのAction~

共通の目標

広島ガスグループ2030年ビジョン
あるべき姿の実現

国連が2030年までにゴールと定めた
SDGs

このまち思い SDGs実行宣言

《4つの重点項目》

- ① エネルギーの普及拡大・安定供給
- ② 地域社会への貢献
- ③ 環境保全
- ④ 働きやすい社会のために



3-7. SDGs達成への貢献②



SDGs実行宣言 重点項目

1. エネルギーの普及拡大・安定供給



基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給等を通じて、持続可能な社会に貢献します。

2. 地域社会への貢献



広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んできました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献します。

3. 環境保全



環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や、森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

4. 働きやすい社会のために



労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に取り組みます。

3-7. SDGs達成への貢献③



具体的な取り組み (1)エネルギーの普及拡大・安定供給

①ガス体エネルギー普及拡大、高効率利用

環境負荷の低減をめざした取り組み

- 天然ガス、LPガスの普及拡大
- エネルギーの高効率利用推進
(コージェネレーションシステム、燃料電池等)

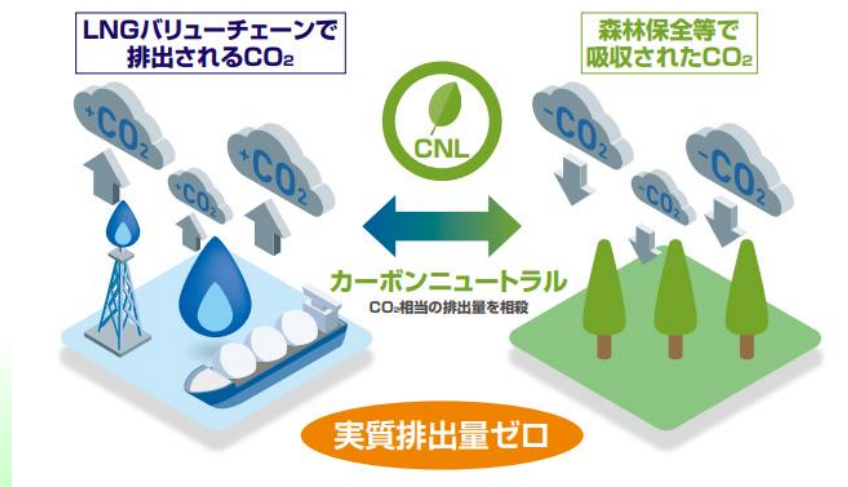


(家庭用)
エネファーム



(工業用・業務用)
ガスコージェネレーションシステム

- カーボンニュートラルLNGの供給拡大



カーボンニュートラルLNGのイメージ

3-7. SDGs達成への貢献④



具体的な取り組み (1)エネルギーの普及拡大・安定供給

②再生可能エネルギー普及拡大

■ CO₂を排出しないクリーン電源や地産地消型エネルギーの活用などにより、カーボンニュートラルの実現をめざす

バイオマス発電事業
(海田バイオマスパワー(株))



2021年4月運転開始

小水力発電事業
(広島ガス志和堀発電所)



2021年6月運転開始

太陽光発電事業
(備後工場太陽光発電設備)



2021年11月運転開始

3-7. SDGs達成への貢献⑤

具体的な取り組み (2) 地域社会への貢献

①芸術・文化振興

- イベントへの参画や国際交流活動等、地域に深く根差したイベントや団体サポートを実施

広響ホットコンサート



広島インドネシア協会



②次世代教育の推進

- 未来を担う子どもたちの健やかな心身および豊かな感性・創造性の育成支援を推進

出張授業、防災教室



このまち思い えがお食堂



③スポーツ振興

- スポーツを通じて、地域住民の方々の心身の健康増進や住民間の絆づくりに取り組む

バドミントン部



スキー部



3-7. SDGs達成への貢献⑥



具体的な取り組み (2) 地域社会への貢献

④地域振興

- 株式会社ひろしまイノベーション推進機構が運営する「ふるさと連携応援ファンド投資事業」への出資契約締結・出資開始（2019年12月20日）
- 本ファンドへの出資を通じて広島を中心とした地域経済の発展への寄与が期待できる企業に投資することによる、地域経済発展への貢献

〈参考〉 ファンドの実績

名称	ふるさと連携応援ファンド投資事業有限責任組合
有限責任組合員 (当社を含め22社)	(株)広島銀行、(株)もみじ銀行、広島信用金庫、広島市信用組合、呉信用金庫、広島県信用組合、中国電力(株)、(株)中電工、マツダ(株)、田中電機工業(株)、広島県信用保証協会、(株)新生銀行、(株)ゆうちょ銀行、(株)三井住友銀行、(独)中小企業基盤整備機構、広島ガス(株)ほか
設立	2020年1月1日
ファンド総額	76億円
期間	2029年12月まで。但し最長2年延長可(10+2年)
投資案件	6件(内訳:広島市4件、福山市、尾道市)
投資理由	事業継承、ベンチャー投資、成長支援、雇用維持・継続

3-7. SDGs達成への貢献⑦

具体的な取り組み (3) 環境保全

森林保全の推進

- CO₂の削減や林業振興による中山間地の活性化、憩いの場の提供など、森林保全を推進することにより、環境保全に取り組む

森林保全事業への着手



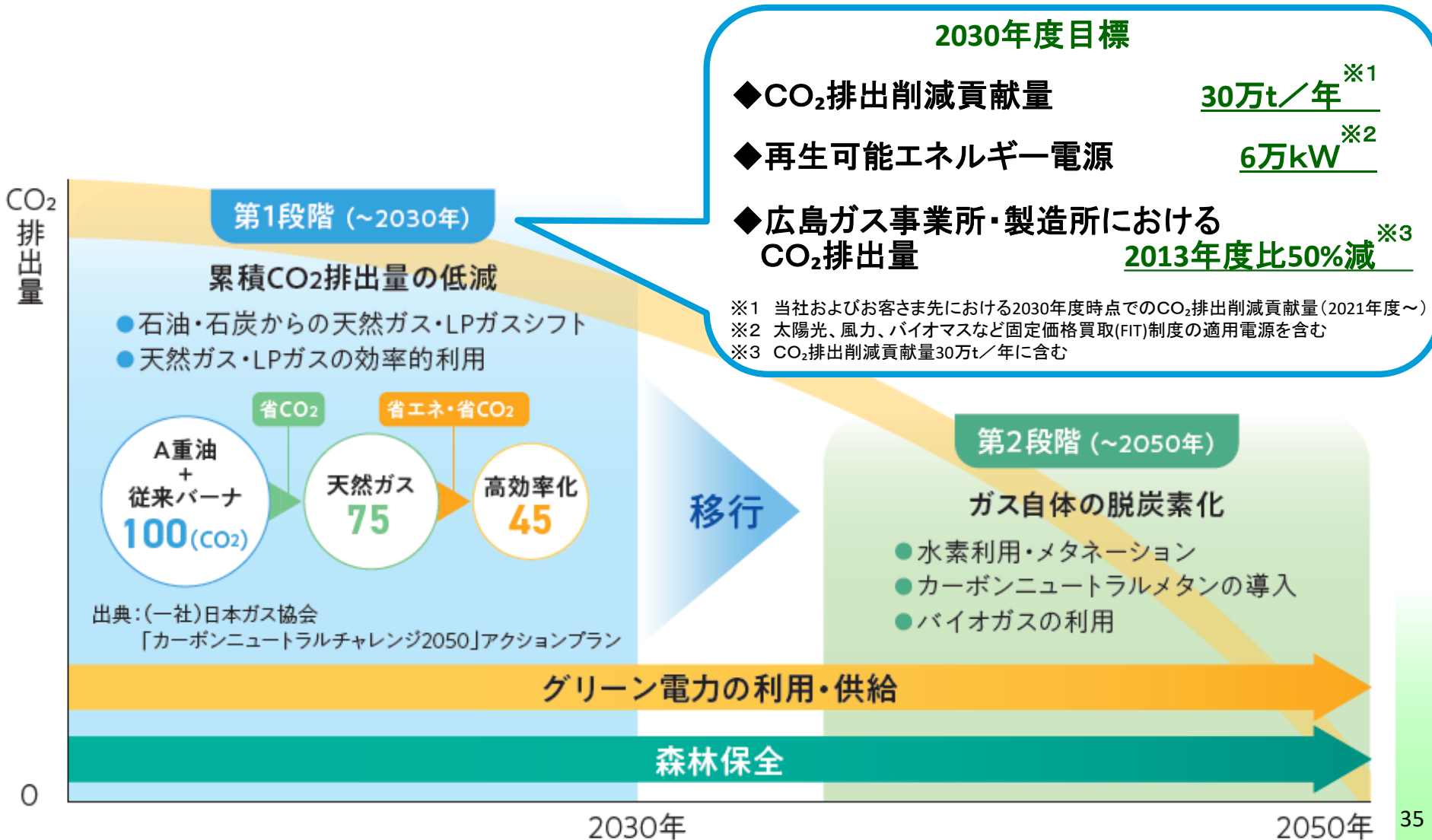
このまち思い 広島ガスの森



3-7. SDGs達成への貢献⑧



広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラル」への取り組み



3-7. SDGs達成への貢献⑨



具体的な取り組み (4)働きやすい社会のために

- 従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい環境づくりに取り組む

働き方改革の推進

労働安全衛生体制の充実

人材育成への取り組み

ワーク・ライフ・バランス実現への取り組み

【各種支援制度(例)】

- ・育児休業
- ・介護休業
- ・特別休暇
(産前産後・妻の出産・家族の介護・ボランティア活動 等)
- ・フレックスタイム制度
- ・育児短時間フレックス勤務制度
- ・介護短時間フレックス勤務制度
- ・テレワーク勤務制度

その他の取り組み

- ・子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得 (2022年8月30日)
- ・「通年ノーネクタイ」の実施 (2022年10月28日～)



4. 2022年度 業績見込み

4. 2022年度 業績見込み（連結）



（単位：百万円）

	2021年度（実績）	2022年度（予想）	差異
売上高	76,802	94,000	17,197
経常利益	4,616	5,200	583
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,662	3,500	▲162
原油価格 JCC(\$/bbl)	76	90	14
為替レート(円/\$)	112	135	23

【参考】2022年度 第3四半期（4～12月）決算実績

（単位：百万円）

	2021年度 3Q	2022年度 3Q	差異
売上高	51,874	63,590	11,716
経常利益	1,803	2,569	765
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,763	1,810	46

ご視聴 ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



このまち **思い** エネルギー。

広島ガス